

立命館アジア太平洋大学 2023年9月入学

**学士課程入学試験要項
特別募集
(日本国外に在住する
国際学生1回生対象)**

受験生の個人情報の取扱いについて (2023年入学者対象)

入学試験に際し、受験生から取得する個人情報は、次のとおりに取扱います。

1. 利用目的

- (1) 入学試験の実施 (出願処理・ 受験票等送付および入学試験の実施) および選考
- (2) 可否の通知、発表
- (3) 入学手続書類の送付
- (4) 在留資格取得・ 更新に関する書類の作成
- (5) 留学生オリエンテーションの案内の送付
- (6) 入学前教育案内書類の送付
- (7) 入学後の生活に関する案内 (住宅斡旋、傷害保険および生活協同組合等) の送付
- (8) 入学試験後の各種アンケート調査の送付

2. 個人情報の管理

受験生の個人情報は、法令に則り、漏洩、滅失、き損等がないよう安全に管理します。

3. 個人データの提供を伴う業務委託

個人データの取り扱いを含む業務の一部を個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。

4. 入学試験の統計資料について

受験生から取得した個人情報は、各種の統計処理を施した上で、今後の入学試験の調査・ 研究の資料として利用するほか、進学希望者への情報公開に使用します。なお、公開される統計資料により個人が特定されることはありません。

EU一般データ保護規則 (GDPR) に関する本学のポリシーは、アドミッションズサイト (<https://admissions.apu.ac.jp/regulations/>)より詳細を参照してください。

各種公式試験実施団体

JLPT日本語能力試験 主催：独立行政法人 国際交流基金 / 公益財団法人 日本国際教育支援協会
<https://www.jlpt.jp>

EJU日本留学試験 主催：独立行政法人 日本学生支援機構
https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/eju/index.html

TOEFL® TEST Test of English as a Foreign Language
主催：ETS (Educational Testing Service)
<http://www.ets.org/toefl>

IELTS International English Language Testing System
主催：ブリティッシュ・カウンシル
<https://www.ielts.org>

ケンブリッジ英語検定 主催：ケンブリッジ大学英語検定機構
<https://www.cambridgeenglish.org>

TOEIC® TEST Test of English for International Communication
主催：ETS (Educational Testing Service)
<https://www.ets.org/toeic>

PTE Academic Pearson Test of English Academic
主催：PEARSON
<https://pearsonpte.com/>

実用英語技能検定 主催：公益財団法人 日本英語検定協会
<https://www.eiken.or.jp>

Duolingo English Test 主催：Duolingo
<https://englishtest.duolingo.com/>

- ・ TOEIC, TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITPはエデュケーション・ テスティング・ サービス (ETS) の登録商標です。この印刷物はETSの検討を受け、またはその承認を得たものではありません。
- ・ L&RはLISTENING AND READINGの短縮形です。

アドミッション・ポリシー

立命館アジア太平洋大学 (APU) の基本理念「自由・平和・ヒューマニティ」、「国際相互理解」、「アジア太平洋の未来創造」に共感し、世界から集う学生とともに学び、異なる文化と価値観の違いを認めて理解し合い、多文化・多言語キャンパスからなる大学コミュニティにおいて日英両語で積極的に交流し、相互の学びに貢献する意思を持った学生を求める。

このような学びを行うためにAPU に入学する学士課程の学生には、以下の資質・能力などを有することを求める。

1. 知識・技能
 - ・ 大学での学習に必要な基本的知識
 - ・ 大学での学習を遂行するために必要な英語または日本語の能力
2. 思考力・判断力・表現力
 - ・ 主体的に課題を発見し問題解決に取り組むためのクリティカル・シンキングと分析力、創造力
 - ・ 情報を正確に読み解く力、自分の考えを的確に表現し論理的に説明する力や数的思考力
3. 主体性・多様性・協働性
 - ・ 目標に向かう行動力、やり抜く力
 - ・ 他者との相互理解に基づき他者を巻き込みつつ、他者に貢献する態度
 - ・ 多文化教育環境を十分に活用し「多文化協働学修」に参画する意欲

アジア太平洋学部

1. アジア太平洋地域を中心にグローバルな社会における「文化・社会・メディア」「国際関係」「グローバル経済」についての興味・関心
2. 社会、政治、経済を中心に社会科学の分野を勉強していくことができる基礎的な力
3. アジア太平洋学部での専門領域の文献を理解し、論述できるための基本的な読解力と文章力
4. 自分の興味、関心を追求し、それを明確に表現する力
5. 多くの情報を統合し、多角的に物事を考え、それらをまとめあげる力

国際経営学部

1. 経営戦略・リーダーシップ、マーケティング、会計・ファイナンス、アントレプレナーシップ・オペレーションマネジメントを含むグローバル経営やビジネスについての興味・関心
2. 創造力、リーダーシップスキル、問題解決力を有し、さらにそれを伸ばす力と意欲
3. ビジネスを通してポジティブな変化をもたらし、アジア太平洋地域や世界におけるインクルージョンと持続可能性に向けてアクションを起こす意欲

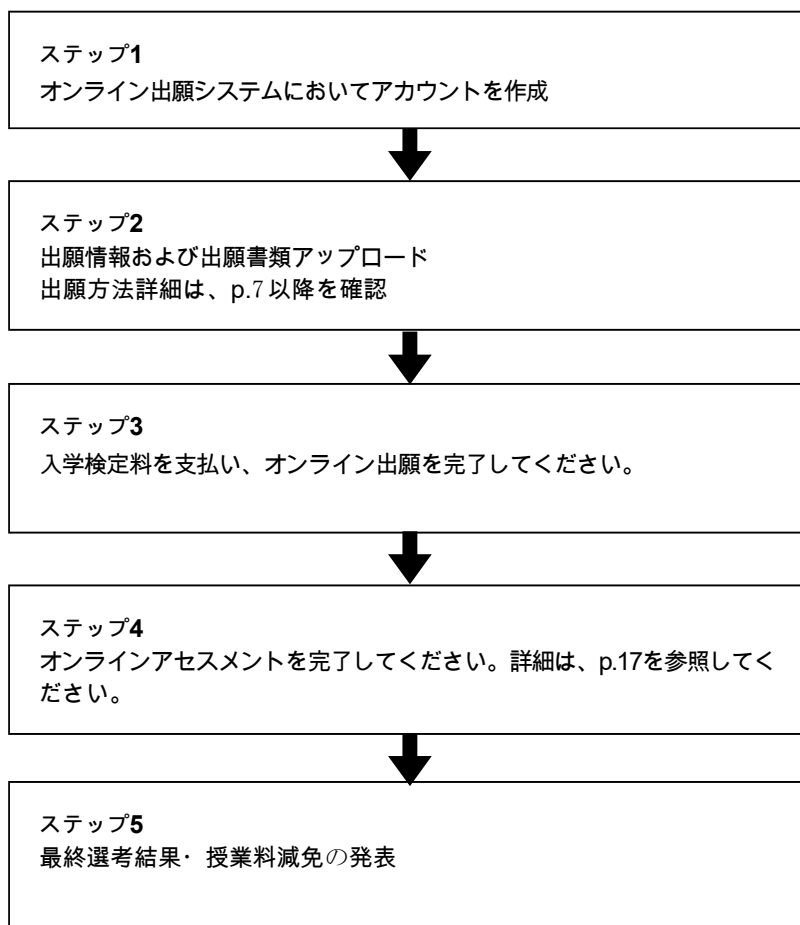
サステイナビリティ観光学部

1. 持続可能な社会と観光についての興味・関心
2. 国内外の様々な地域へ関心を持ち、地域の持続可能性に向けて課題解決に取り組む意欲
3. 学内外における学びを通じ、様々な社会のアクターと協働して学問横断的に学ぶ意欲

入学者選抜においては、APUにおける学びに適した学部学生を受け入れるために、上記の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を総合的に判断する多様な入学者選抜を行う。

出願から最終選考結果までの一般的な流れ

この表は一般的な流れを示したものであり、タイミングは個別ケースによって異なります。出願から最終選考結果まで約2ヵ月かかります。



この募集は、日本国外に居住し、日本国籍(重国籍含む)・在留資格の「永住」を保持せず、1回生から入学を希望する方を対象としています。

合格後の手続き

合格後は、入学するために必要な手続きがあります。留学ビザ申請含め、入学手続の詳細は、p.21～24を参照してください。

オンライン出願チェックリスト

- APU オンライン出願システム (https://admissions.apu.ac.jp/apply_online/) から出願してください。
- すべての書類はオンラインで提出することができます。
 - 英語または日本語以外で作成された証明書等は、英語または日本語の翻訳もあわせてアップロードしてください (詳細はp.22参照)。

全員が提出するもの

<input checked="" type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	A. 基本情報
<input type="checkbox"/>	B. 学歴
<input type="checkbox"/>	C. 学歴関係書類 (成績証明書や卒業証明書)
<input type="checkbox"/>	D. 言語能力の証明
<input type="checkbox"/>	E. 試験結果と証明書類
<input type="checkbox"/>	F. エッセイ (再出願者は、再出願理由書含む)
<input type="checkbox"/>	G. 推薦書
<input type="checkbox"/>	H. 活動実績
<input type="checkbox"/>	I. 授業料減免
<input type="checkbox"/>	J. その他の受給予定奨学金
<input type="checkbox"/>	K. 日本への入国歴
<input type="checkbox"/>	L. その他の必要書類
<input type="checkbox"/>	M. 電子署名、外部奨学金情報、サーベイ
<input type="checkbox"/>	N. 入学検定料支払

! 出願書類原本の保管

入学手続の際に、オンライン出願時にアップロードした証明書の「原本証明がなされた複写」の提出が必要となります。入学手続時に複写を行うため、原本は必ず保管しておいてください。また、提出された書類に、偽造や虚偽記載などの不正行為が発覚した場合は、たとえ入学後であっても入学許可を取り消す場合があります。

1 回生新入学

日本国外に居住し、日本国籍（重国籍含む）在留資格の「永住」を保持せず、1回生から入学を希望する方を対象としています。

1. 募集人数

2023年度の国際学生を対象とした1回生新入学（学士課程）での募集人数に含みます。出願状況や選考の結果によって、合格者数が募集人数を下回ることがあります。その場合、残りの人数は他の入試で募集します。

	2023年9月入学
アジア太平洋学部	15
国際経営学部	5
サステイナビリティ観光学部	30

2. 出願資格

次の出願資格1・2の両方に該当していることが必要です。

A. 出願資格1：学歴

- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者もしくは入学日*までに修了見込みの者。
上記に該当する場合は、出願資格1（学歴）を満たしています。続いて出願資格2（p.6 参照）へ進んでください。
通常課程による12年の学校教育を修了もしくは修了見込みに該当しない者は、下記の（2）～（9）のいずれかに当てはまるか確認してください。当てはまる場合は、出願資格1（学歴）を満たしています。
- 日本において、外国の高等学校の課程相当として、日本の文部科学大臣が指定した教育施設を修了した者、または入学日*までに修了見込みの者
- 日本の文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程を修了した者、または入学日*までに修了見込みの者
- 外国において、学校教育における課程が12年未満の場合で、日本の文部科学大臣が指定した入学準備課程または研修施設の課程を修了する必要がある者で修了した者、または入学日*までに修了見込みの者
- 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCE Aレベルを保有する者、または入学日*までに保有見込みの者
- 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者、または入学日*までに修了見込みの者
- 日本および外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者、または合格見込みの者で入学日*までに18歳に達する者
- 本学において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で入学日*までに18歳に達する者
- 通常の学校教育の課程が11年の場合でも文部科学大臣が指定する11年以上の課程を修了したと認める学校の課程を修了した者、または入学日*までに修了見込みの者（2022年5月13日現在該当する課程は、ウクライナ、ウズベキスタン共和国、スーダン共和国、ペラルーシ共和国、ペルー共和国、ミャンマー連邦共和国、ロシア連邦の各課程）

出願資格（学歴）を満たしているかを確認したい場合は、アドミッションズサイト（https://admissions.apu.ac.jp/how_to_apply/）にて、簡易的な資格確認ができます。

上記のいずれかの資格を入学までに満たすことを証明する資料を出願時点でオンラインで提出する必要があります。最終選考結果発表後に、入学手続においてその資格を適切に満たしたことを証明する追加書類の提出が求められる場合があります。追加書類を含め、該当する全ての提出書類が定められた期日までに郵送にてAPUへ提出できない場合は、入学許可が取り消される場合があります。入学手続時に郵送による提出が必要な書類については、22ページを確認してください。

*入学日とは、4月入学の場合2023年4月1日、9月入学の場合2023年9月21日を指しています。

B. 出願資格2：言語能力

以下の日本語または英語のいずれかの言語基準を満たす者。なお、条件を満たす場合は、言語能力試験のスコアによる言語能力証明書が免除されます。詳しくは、p.9、p.10を参照してください。

日本語の最低基準		
JLPT N1	JLPT N2	EJU「日本語」*
100点	120点	読解・聴解・聴読解：250点 記述：30点

*読解・聴解・聴読解と記述の両方の基準を満たす必要があります。

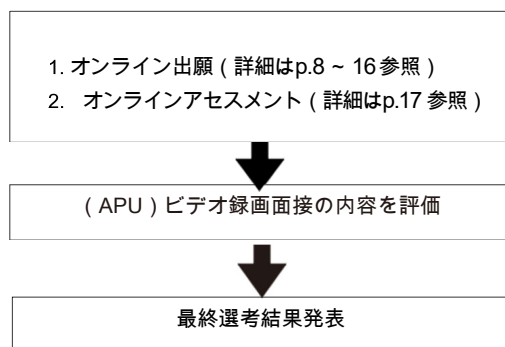
英語の最低基準								
IELTS	IELTS Indicator	TOEFL iBT® Test	TOEFL iBT® Home Edition	TOEIC® L&R Test	ケンブリッジ英語検定	リンガスキル	PTE Academic	英検
6.0*		75点		750点	169		50	準1級

*IELTS のスコアを提出する場合、上記の基準にくわえて各項目が5.5以上である必要があります。

2023年4月入学希望者は「2020年6月1日以降」かつ出願締切日までに受験した試験のスコア、2023年9月入学希望者は「2020年9月1日以降」かつ出願締切日までに受験した試験のスコアのみ有効とします。

ただし、選考発表日時点でオンライン成績照会ができないスコアについては原本の提出を求めます。原本が提出できない場合は、有効なスコアとして認められません。

3. 選考



最終選考結果について

オンラインアセスメントにおいて受けるビデオ録画面接および出願書類に基づきます。第2希望の学部、第3希望の学部を選択した場合でも、合格するのは1学部のみです。また、複数の希望学部を選択してもすべて不合格となるケースがあります。

最終選考結果は、最終選考結果発表日にアドミッションズサイト内にて発表します。ログインに必要な情報は最終選考結果発表日にEメールでお知らせします。電話やEメールなどによる選考結果やその理由等に関わる問い合わせは受け付けていません。

4. 選考日程

最終選考結果発表日から入学手続完了までの期間が短くなっています。入学手続締切をよく確認のうえ、出願してください。なお、各締切日の延長は一切受け付けていません。

オンライン出願期間		最終選考結果発表日
出願開始日	出願締切日	
2023年4月24日(月)	2023年5月2日(火)	2023年6月12日(月)

出願方法

ステップ1

APU オンライン出願システム (https://admissions.apu.ac.jp/apply_online/) のアカウントを作成してください。



ステップ2

- ・ APU オンライン出願システム内で、必要な情報を入力し、次のページ以降に記載される必要書類を提出してください。
- ・ 志願者本人が必要情報の入力および書類のアップロードをしてください。その際、入学基準言語が日本語の場合は日本語で、入学基準言語が英語の場合は英語で入力してください。英語または日本語以外で作成された書類は、原語版の書類とあわせて英語または日本語の翻訳文書を提出してください。翻訳書類の詳細は、p.22を参照してください。



ステップ3

出願締切日当日の日本時間23:59までに、以下を完了してください。

- 入学検定料の支払い、及びオンライン出願の完了
- オンラインアセスメント

！ 出願にあたっての注意点

- ・ 提出された書類の偽造、提出した情報における虚偽記載や剽窃行為があった場合、オンラインアセスメントを含む選考で不正行為があった場合は、不合格やその後の出願資格を失う可能性があります。また、合格決定後や入学後に判明した場合は、合格取消ならびに入学許可取消となります。なお、不正とみなされる行為が確認された場合の取扱いについては、アドミッションズサイト (https://admissions.apu.ac.jp/how_to_apply/forgery_policy) を参照してください。
- ・ 合格後 (入学手続時) に証明書の原本、もしくは原本証明がなされた複写* の提出が必要になります。合格後 (入学手続時) に提出された書類が出願時にアップロードした書類と異なる場合、または提出できない場合は、入学許可を取り消します。原本は必ず保管しておいてください。
- * 公的機関 (当該書類を発行した機関が望ましい) が、原本と同じものであると認め公印を押した写しのこと。詳細な作成方法はアドミッションズサイト (https://admissions.apu.ac.jp/material_download/) で確認できます。

1. オンライン出願での提出書類と必要情報

下A～Mのセクションは、APUオンライン出願システム内の各ページを指しています。A. 基本情報は、「出願基本情報」「志願者情報」「緊急時連絡先と経費支弁者」「APU海外連絡窓口・エージェント情報」に関する情報をまとめて説明しています。

A. 基本情報

オンライン出願システム内で必要な情報を入力してください。国・地域および都市は、本学に入学するまでの情報を使用してください。

志願者情報では、パスポートに記載されている氏名・生年月日・性別*・国籍などの個人情報を入力してください。

APU海外連絡窓口またはエージェントを通して出願する場合は、担当者氏名、正式な会社名、メールアドレスを確認のうえ入力してください。APU海外連絡窓口についての情報は本要項の裏表紙に記載されています。

希望する学部については、第1希望から第3希望まで入力することができます。(第1希望のみ、第2希望まで選択することも可能です。)複数学部を選択しても、合格するのは1学部のみです。

*性別に関する情報は、学籍登録に使用されます。現在、学籍登録システムは男性と女性の2つの性別選択しかできないため、パスポートに記載の性別を選んでください。パスポートにその他と記載がある場合や本学の性の多様性に関する取り組みを詳しく知りたい場合は、アドミッションズ・オフィスへお問い合わせください。なお、p.25に「性の多様性に関する基本方針」を掲載していますので、参照してください。

B. 学歴

オンライン出願システム「学歴」ページ内でAdd Newボタンを押して、小学校から現在までのすべての学歴を入力してください。学士課程、日本の語学学校やその他の学歴がある場合も必ず入力してください。

学歴に関わる出願資格は、p.5を参照してください。なお、現在、アルバイト以外の職業についている場合は、現職についても必ず入力してください。

C. 学歴関係書類

下記の成績証明書と共通試験の両方がある場合は、両方提出してください。共通試験の詳細は、p.11～12を参照してください。複数持っている場合は、全て提出してください。成績証明書を提出する際は、評価基準に関する書類も提出してください。成績証明書は、その発行機関が署名・公印もしくはシールによって原本と相違ないことを証明したものののみ有効とします。語学学校の成績表は提出不要です。

成績証明書

1 回生新入学

- 出願時にすでに高等学校を卒業している方は高等学校における3年間分の成績証明書をアップロードしてください。出願時に大学またはその他の高等教育機関に1年以上在籍している場合は、あわせて当該教育機関の成績証明書をアップロードしてください。すでに大学で学位をとっている場合は、大学の成績証明書のみをアップロードしてください。
- 出願時に高等学校在学中の方は出願日から2ヶ月以内に発行された2年間以上分の成績証明書を提出してください。

卒業証明書または卒業見込証明書

1 回生新入学

- ・ 高等学校を卒業している場合、高等学校の卒業証明書のアップロードが必須です。
- ・ 出願時に高等学校に在学中の場合、用意できる者に限り、卒業予定日が記載された高等学校の卒業見込証明書を提出してください。卒業見込証明書のアップロードは必須ではありません。ただし出願資格を確認するために、最終教育歴（12年目相当の教育履修歴等）について本学より志願者に問い合わせをする場合があります。
- ・ 出願時にすでに大学またはその他の高等教育機関を卒業している方は当該教育機関の卒業証明書をアップロードしてください。大学を卒業している場合は、高等学校の卒業証明書の提出は必要ありません。

ホームスクールでの教育課程を経ている志願者

ホームスクールでの教育課程を経ている場合、SAT、ACTまたはGEDのスコアレポートの提出を強く推奨します。審査に必要と判断した場合は、スコアレポートの提出を追加で求めることがあります。

D. 言語能力の証明

あなたの言語能力を証明するために提出する言語能力試験を一つ選択してください。p.6に記載の試験を有効な言語能力試験として認めます。

- ・ 2023年4月入学：2020年6月1日以降かつ出願締切日までに受験した試験結果のみが受付可能です。
 - ・ 2023年9月入学：2020年9月1日以降かつ出願締切日までに受験した試験結果のみが受付可能です。
- 最終選考発表日時点でオンライン成績照会ができないスコアについては原本の提出を求めます。原本が提出できない場合は、有効なスコアとして認められません。

日本語基準の志願者

！ 出願の前に

下記に該当する日本語基準の志願者は、日本語能力試験結果の提出は不要です。

- ・ 日本国内で、直近3年間（見込む）、通常の課程による学校教育を日本語で受けた者。
- ・ 日本国外で、直近3年間（見込む）、通常の課程による学校教育を日本語で受けた場合は、そのことを証明する学校からのレターまたは公式ホームページのコピーを提出できる者。

言語能力証明書の提出免除の場合は、オンライン出願システム「言語能力の証明方法」ページ内で該当する条件を選択してください。いずれの条件にも当てはまらないときは、p.11にある言語能力試験の結果または言語能力認定書を提出してください。

！ COVID-19の影響により試験結果が提出できない場合

日本語能力証明書を提出できない場合：

- ・ J-CATの受験をオンライン出願システムより申し込んでください。出願締切後に本学から受験方法に関する連絡をします。
- ・ JPTのスコアを取得している場合は、スコアをアップロードしてください。

英語基準の志願者

！ 出願の前に

- 下記のいずれかに該当する英語基準の志願者は、英語能力試験結果の提出は不要です。
- ・ アイルランド、アメリカ合衆国、アンティグア・バーブーダ、イギリス、オーストラリア、ガイアナ、カナダ（ケベック州を除く）、グレナダ、ジャマイカ、シンガポール、セントクリストファー・ネイビス、セントルシア、セントビンセント・グレナディーン、ドミニカ国、トリニダード・トバゴ、ニュージーランド、パハマ、バルバドス、ペリリーズのいずれかの国において、英語による12年目の教育課程を修了もしくは修了見込みの者。
 - ・ 上記の国以外で、直近3年間、通常の課程による学校教育を英語で受けた場合は、そのことを証明する学校からのレターまたは公式ホームページのコピーを提出できる者。
 - ・ 国際バカロレア（International Baccalaureate）のディプロマを英語で取得もしくは取得見込みの者。
 - ・ 英語で実施された課程において、学士号または修士号を取得している者。
 - ・ 以下の資格試験において一定のスコアを満たす者。
Old SAT（Critical Reading and Writing）：1100点以上
New SAT（Evidence-Based Reading and Writing）：590点以上
ACT：25点以上（「English（英語）」「Reading（読解）」の平均点が25点以上）

言語能力証明書の提出免除の場合は、オンライン出願システム「言語能力の証明方法」ページ内で該当する条件を選択してください。いずれの条件にも当てはまらないときは、p.11にある言語能力試験の結果または言語能力認定書を提出してください。

！ COVID-19の影響により試験結果が提出できない場合

英語能力証明書が提出できない場合：

- ・ 出願締切までにDuolingo English Testを受験し、出願締切前までにあなたの英語教員に言語能力認定書を提出するよう依頼してください。通常、結果は試験終了後数日以内に確認できます。

言語能力認定書

言語スコアの提出ができない場合は、APU所定書式「English Proficiency Evaluation」または「日本語能力認定書」を提出してください。下記のリンクより所定書式にアクセスすることができます。このリンク先とあなたのオンライン出願番号を言語を指導した教員等（認定者）へ伝えてください。認定者はそのリンク先よりオンライン上で必要事項を入力し、電子署名を行うことで、本学へ直接提出できます。認定内容を志願者本人が見ることはありません。また、認定者は志願者を最低半年以上指導したことがある人に依頼してください。認定書は、必ず英語または日本語で入力するよう依頼をしてください。それ以外の言語では受付できません。

なお、言語能力認定書を提出することによって言語能力を証明することは可能ですが、授業料減免を希望する志願者は、それにあわせて、オンラインで受験できる試験を受けることを強く推奨します。そうすることで、授業料減免を受給できる可能性が高まる場合があります。日本語基準志願者の場合はJ-CAT、英語基準志願者の場合は、Duolingo English Testが対象です。

English Proficiency Evaluation : <http://r.apu.jp/EnglishPE>

日本語能力認定書 : <http://r.apu.jp/JapanesePE>

E. 試験結果と証明書類

オンライン出願システム「言語能力試験および共通試験」ページでテストを追加ボタンをクリックして、提出する言語能力試験と共通試験を選択し、「試験結果と証明書類」ページで原本コピーをアップロードしてください。有効な試験は次のとおりです。

日本語能力試験

試験	提出方法
日本留学試験 (EJU)	成績通知書の原本コピーをアップロードする。
日本語能力試験 (JLPT)	成績に関する証明書の原本コピーをアップロードする。

英語能力試験

試験	提出方法
ケンブリッジ英語検定 リンガスキル	<ul style="list-style-type: none"> ・ ID Numberと Secret Numberを入力する。 ・ 結果ステートメントをオンライン出願システムへアップロードする。
Duolingo English Test	オンライン出願システム内にスコアを入力し、Duolingoウェブサイトですコア送付依頼を行う。Duolingoの試験結果は、本学所定の言語能力認定書とあわせて提出をした場合のみ、有効なスコアとして取り扱います。言語能力認定書の詳細は、p.10を参照してください。
英検	試験結果の原本コピーをオンライン出願システムへアップロードする。
IELTS* IELTS Indicator*	成績証明書 (Test Report Form) をオンライン出願システムへアップロードする。
PTE Academic	スコアレポートの原本コピーをオンライン出願システムへアップロードする。
TOEFL iBT® Test* TOEFL iBT® Home Edition*	成績証明書 (Test Score Report) をオンライン出願システムへアップロードする。MyBestスコアのスコアレポートでの出願が可能です。
TOEIC® L&R Test	スコアレポートの原本コピーをオンライン出願システムへアップロードする。

TOEFL ITP® Test, IELTS (General Training Module)、TOEIC® Listening & Reading IP Test, PTE Generalは、受付けていません。

*最終選考発表日時点でオンライン成績照会ができないスコアについては原本の提出を求めます。原本が提出できない場合は、有効なスコアとして認められません。

共通試験

試験	提出方法
Abitur	Abitur 証明書をアップロードしてください。
ACT	試験実施団体から本学へ直送依頼をした後で、試験結果証明書をアップロードしてください。団体コードは、5475です。
Baccalaureate	成績証明書をアップロードしてください。ただし、ディプロマを取得できなかった場合、本学への入学資格が取り消されることがあります。
BTEC	下記のいずれかの試験結果をアップロードしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Level 3 Diploma/National Diploma ・ Level 3 Extended Diploma/National Extended Diploma ・ その他Level 4以上の試験
EJU 日本留学試験	下記の試験結果をアップロードしてください。 総合科目 + 数学 (コース1または2)
GCE A Level*	最低2科目以上またはAS Level 4科目以上の試験結果をアップロードしてください。
GCE A Level (シンガポール)	3科目の試験結果をアップロードしてください。

GCE A Level (スリランカ)	3科目以上の試験結果 (Official Statement) をアップロードし、Reference Numberを入力してください。
Pearson/Edexcel International A Levels (IAL)**	最低2科目以上またはAS Level 4科目以上の試験結果をアップロードしてください。
General Educational Development (GED)	GED 公式の証明書をアップロードしてください。
Hong Kong Diploma of Secondary Education Examination (HKDSE)	コア科目4科目および選択科目1科目以上が必要です。Predicted Scoreも可。
International Baccalaureate (IB) Diploma	IB Predicted Scoreも可。ただし、IBディプロマを取得できなかった場合、本学への入学資格が取り消されることがあります。
SAT (New) (Reading & Writing + Mathematics)	試験実施団体から本学へ直送依頼をした後で、試験結果証明書をアップロードしてください。団体コードは、2791です。
SAT (Old) (Critical Reading + Mathematics + Writing)	試験実施団体から本学へ直送依頼をした後で、試験結果証明書をアップロードしてください。団体コードは、2791です。
Senior Secondary School Certificate Examination Results	試験結果をアップロードしてください。

*3科目以上のA Levelの科目提出を強く推奨します。AS Levelのみでは、出願資格(学歴)を満たしません。

**3科目以上のA Levelの科目提出を強く推奨します。IAL A Levelのみでは、出願資格(学歴)を満たしません。

Advanced Placement (AP) 試験

科目とスコアに関する情報を入力し、試験結果証明書をアップロードしてください。

その他共通試験結果証明書

対象となる共通試験に記載の無いその他の共通試験結果を持っている場合は、2つまでアップロードしてください。

共通試験の試験結果証明書は各試験の有効期限内のもののみ受け付けます。

F. エッセイ

オンライン出願システム内の説明に従い、志願者本人がエッセイを作成してください(各350文字以内)。文字数に制限があるので注意してください。複数の学部を併願する場合は、希望する学部すべてについてのエッセイを作成する必要があります。APUは学問的誠実性(academic honesty)を重要視しています。そのため不誠実な行為に対しては厳しい措置をとります。その学問的誠実性チェックの一環として、記入されたエッセイと、過去に提出されたすべてのエッセイとの類似度をチェックしています。他者のエッセイを転用した場合も不正行為として扱います。これらの行為が確認された場合は不合格となりますので、絶対に行わないでください。合格が決定した後であっても、不正行為が判明した場合は合格は取り消されます。APUは誠実に取り組む志願者を高く評価します。

本学への再出願を希望する方は、再出願理由書も提出してください。

G. 推薦書

志願者を最低半年以上知っている最終出身学校の教員に依頼してください。正規教育在学中の場合は、その機関の教員に依頼してください。すでに正規教育機関を卒業している場合は、語学学校教員、もしくは勤務先・インターンシップ先(アルバイト先は除く)の上司・雇用主に依頼してください。もしくは大学が指定するAPU卒業生へ依頼してください。

まず、推薦者の情報をオンライン出願内で用意されている所定の項目へ入力してください。入力後、推薦書フォームが自動的に推薦者へメールで送られますので、届いているかを推薦者に必ず確認してください。推薦者はそのリンク先よりオンライン上で必要事項の入力を完了させることで、推薦書は直接本学へ提出されます。推薦内容を志願者本人が見ることはできません。推薦者の提出状況はオンライン出願完了後に表示されるステータスページでも確認できます。

推薦書は、必ず英語または日本語で入力するよう依頼をしてください。それ以外の言語では受付できません。

H. 活動実績

本学では、以下のA～Mの分野での課外活動実績をもつ志願者を評価します。ただし、高校時代（それに相当する課程（Grade10）以降の活動を対象とします。

各分野ごとに1つの活動実績を提出することが出来ます。複数の活動実績がある場合は、最も力を入れた活動に関する情報を入力してください。このページに含めることができない活動については、オンライン出願システム「その他活動実績」ページに入力してください。

分野A以外の活動実績は、その活動を証明する書類をアップロードしていない場合は評価の対象となりません。英語または日本語以外の場合、翻訳がないものも評価の対象となりません。翻訳は翻訳者の氏名・住所・連絡先・署名が記入されているもの、もしくは捺印されたものをアップロードしてください。証明書の発行機関、翻訳会社または資格を持つ翻訳者による翻訳のみ認めます。翻訳文書だけの提出は受け付けません。原本（英語または日本語以外）の証明書も必ずアップロードしてください。

活動分野		活動実績・成果の目安
A	生徒会活動	1学年相当以上の執行部活動
B	社会的活動 (ボランティア・地域交流)	メディアに掲載されるなど社会的に評価された活動やボランティア活動
C	入賞歴 (文化・芸術、学術、スポーツ)	全国大会や地域における大会での入賞実績やメディアに掲載されるなど社会的に評価された実績
D	模擬国連	活動規模不問
E	奨学金受給歴	受給期間・金額不問
F	教育プロジェクト	公的機関が実施する全国規模の教育事業・交流事業への参加実績
G	インターンシップ	企業における研修生としての就業体験
H	英語能力試験	スコア不問。TOEFL iBT®, IELTS, PTE Academic, TOEIC, 英検, TEPS 等
I	外国語能力試験（第3言語）	スコア不問。ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語等の能力試験。（CEFR対応試験を推奨）
J	国際経験	海外の学校への在籍(長期留学含む)、海外での語学研修、海外でのサマースクール
K	その他技能・技術・資格	公文の高校基礎課程・最終教材終了テスト、CU-TEPのスコア、技能資格等
L	APU関連プログラム	・ Academic and Cultural Experience (ACE)への参加 ・ Virtual Mini Online University Program (VMUP)への参加
M	ナショナルチームでの活動	—

I. その他の受給予定奨学金

本学以外の機関から奨学金を受給予定の方は、その奨学金給付証明書をアップロードしてください。

J. 日本への入国歴

過去に日本への入国履歴がある、または過去に在留資格認定証明書 (COE) を申請したことがある方は、必要情報を全て入力してください。また、COE の不交付歴がある、または在留期間更新許可申請が受理されなかったことがある方は、その時期と詳細な理由を入力してください。審査の結果に影響はありませんので安心してください。

K. その他の必要書類

写真

出願前3ヶ月以内に撮影した、胸上正面・無帽・無背景の写真をアップロードしてください。鮮明であれば、カラーでも白黒でも可。

パスポートのコピー

パスポートを所有している場合は、写真・氏名・パスポート番号面を必ずアップロードしてください。来日歴がある場合は、直近の出入国スタンプの押されているページもあわせてアップロードしてください。出願時点で有効なパスポートを持っていない場合でも出願可能です。

在留カードのコピー (すでに有効な日本の在留資格をお持ちの方のみ)

在留カードの両面のコピーをアップロードしてください。

入学時までに在留資格「留学」へ変更する方のための確認書

現在、日本の「留学」以外の在留資格を保持し授業料減免を希望する場合は、入学日前日までに在留資格を「留学」に変更する必要があります。授業料減免を希望し在留資格を「留学」に変更する場合は、必ず所定書式「入学時までに在留資格『留学』へ変更する方のための確認書」を出願時にアップロードしてください。確認書は本学アドミッションズサイト (https://admissions.apu.ac.jp/material_download/) よりダウンロードできます。提出がない場合は、授業料減免対象とはなりません。入学日 (春入学4月1日、秋入学9月21日) の前日までに在留資格「留学」へ変更を行わなかった場合、在留資格「留学」の方対象の授業料減免は取り消しとなります。

L. 電子署名、外部奨学金情報、サーベイ

出願完了前に、出願に関する同意書への電子署名を行ってください。あわせて、外部奨学金情報を確認し、サーベイに回答してください。外部奨学金情報はp.18および、オンライン出願システム内で詳細を記載しています。

M. 入学検定料支払

入学検定料の詳細は、p.16を参照してください。

クレジットカード決済

オンライン出願時に、オンライン出願システム内で支払ってください。支払証明の提出は不要です。

銀行送金

振込後、送金依頼書のコピーをオンライン出願システムにアップロードしてください。

❗ 支払い後の注意点

入学検定料支払完了後、必ずオンライン出願システム「出願情報確認と願書」ページへアクセスし、出願を完了してください。出願完了後にオンラインアセスメント (p.17参照) を受験する必要があります。

2. 授業料減免

授業料減免を希望する志願者は、オンライン出願システム内より申請してください。

本学への入学までに日本国の法律（出入国管理および難民認定法）に定められる在留資格「留学」を取得できる方は、出願時に授業料減免に申請できます。ただし減免が決定しても、入学までに在留資格「留学」を取得できない場合は、減免を取り消します。在学中に在留資格が「留学」以外に変更された場合についても同様です。

授業料減免は本学の理念に賛同していただいた日本国内外の企業や個人からの寄付金および日本文部科学省からの補助金で運営されます。その趣旨は優秀で、経済的に修学困難な外国人留学生に対する奨学援助です。採用された方は一定の優れた成績を修め、他の学生の模範であることが求められます。

在学期間中は、 Semesterごと成績等による授業料減免の継続審査を行います。成績が優秀で、大学より課せられる課題を期限内に提出し、かつ本学奨学生として相応しい学生生活を過ごす限り、標準修業年限内まで適用されます。しかし、模範学生に相応しくない言動が見られた場合、および本学の名誉を傷つけた場合には減免が打ち切られます。希望者はこの趣旨を理解のうえ申請してください。授業料減免に関わる審査は入学選考とあわせて、提出された書類および面接、オンラインアセスメントに基づく総合的な選考を行います。授業料減免申請の選考結果は、最終選考結果発表時に通知します。

1 回生新入学の場合（2023年度入学者）*

授業料減免率	授業料減免額（年間）	授業料自己負担額（年間）
30%	390,000円	910,000円
50%	650,000円	650,000円
65%	845,000円	455,000円
80%	1,040,000円	260,000円
100%	1,300,000円	0円

* 授業料の改定に応じて変更されることがあります。2回生以降の授業料は1回生時の授業料（年間）と異なります。

3. 入学検定料

入学検定料は、クレジットカード決済で納入してください。クレジットカード決済を利用できない場合のみ、振込（海外送金、日本国内より送金）での支払いを受け付けます。入学検定料の支払いとオンライン出願の両方が済んではじめて出願が完了します。

👉 支払い時の注意点

- ・ 入学検定料が納入されるまで出願は受理されません。必ず締切日までに納入してください。クレジットカード決済は、締切日当日の日本時間23:59を過ぎると決済ができなくなります。
 - ・ 円建てで支払ってください。銀行送金の場合は、必ず送金依頼書のコピーをオンライン出願システム内にてアップロードしてください。
 - ・ 現金および郵便為替は受け付けません。
 - ・ プリペイドカードや海外利用不可のクレジットカードは利用できません。
 - ・ 入学検定料の免除はありません。なお、原則、入学検定料の返還はしません。ただし、次のいずれかに該当する方は、事務手数料を差し引いた一部または全額を返還する場合があります。
 - 入学検定料を多重で支払った場合、もしくは本学が定める入学検定料およびその収納にかかる事務手数料よりも多く払い過ぎていたことが明確な場合
 - 本学が出願を不受理とした場合
- 返還方針の詳細については、アドミッションズサイト (https://admissions.apu.ac.jp/how_to_apply/refund_policy) を参照してください。

A. クレジットカード決済

決済金額

5,500円（内訳：入学検定料5,000円 + 事務手数料500円）

支払方法

オンライン出願システムから支払いができます。

B. 銀行送金（クレジットカード決済を利用できない場合のみ）

決済金額

7,000円（内訳：入学検定料5,000円 + 事務手数料2,000円）

上記の金額以外に銀行での送金手数料が必要です。送金手数料は銀行によって異なります。必ず送金人負担としてください。入学検定料が満額振り込まれていない場合は不足金額を再度請求します。

支払方法

送金目的	入学検定料等
連絡事項	志願者の氏名、電話番号
銀行名	三井住友銀行 大分支店 (Sumitomo Mitsui Banking Corporation Oita Branch)
支店住所	〒870-0035 大分県大分市中央町1-3-22 (1-3-22 Chuo-machi, Oita-city, Oita-prefecture, 870-0035 JAPAN) Tel: +81-97-532-5161
口座番号	普通預金1001673
受取人名	立命館アジア太平洋大学 学校法人立命館 (RITSUMEIKAN ASIA PACIFIC UNIVERSITY)
Swiftコード	SMBCJPJT
IBANコード (必要な方のみ)	JP28 SMBC 0721 XXX2 4029 0868
海外送金手数料	送金人負担

日本国内から親戚や知人を通じて入学検定料を振り込む場合、連絡事項欄に志願者本人の氏名と電話番号を忘れずに入力してください。そのうえで、オンライン出願時に送金依頼書のコピーを必ずアップロードしてください。

4. オンラインアセスメント

オンラインアセスメントは、全ての国際学生の学力を公平に評価することを目的として実施しています。オンラインアセスメントで行われるテストおよびビデオ録画面接はオンライン出願手続き完了後に実施されます。オンラインアセスメントはコンピューターからのみ受けることができます。それら全てのテストおよびビデオ録画面接を出願締切日までに完了する必要があります。

A. 日本語基準で出願する場合

日本語基準志願者向けのオンラインアセスメントでは、論理的思考力、批判的思考力を測ることを目的に、2つのセクションで構成されるオンラインビデオ面接が行われます。約30分要します。なお、ビデオ録画面接は、対面形式では行われません。ビデオ録画面接を行うためのウェブサイトにて表示される質問に回答し、それらが自動的に録画されます。それぞれの質問には回答時間の制限が設けられています。

B. 英語基準で出願する場合

英語基準志願者向けのオンラインアセスメントは、Core Abilities Assessment、Watson-Glaser Critical Thinking Appraisal III、ビデオ録画面接の3つで構成されます。オンラインアセスメントは全体でおよそ60～70分程度の時間を要します。これら3つを出願締切日までに完了してください。

！ はじめる前に

COREとWGIIIの受験前に、使用するコンピューターにSafe Exam Browser (SEB) がインストールされている必要があります。これは、不正防止のために必要な措置です。詳細は、オンライン出願システム内にある説明動画および、英語基準志願者向けのオンラインアセスメントに関するガイドライン (<http://r.apu.jp/SEB2023>) を参照してください (英語のみ)。SEBに関するシステム要件などの詳細は、ウェブサイト (https://safeexambrowser.org/about_overview_en.html) を参照してください。

ビデオ録画面接

(約20分) ビデオ録画面接は対面形式では行われません。ビデオ録画面接を行うためのウェブサイトにて表示される質問に回答し、それらが自動的に録画されます。それぞれの質問には回答時間の制限が設けられています。

Core Abilities Assessment (CORE)

(所要時間：約20分)

「言語的・数值的・抽象的な項目で構成された設問に対し、適切な推論を行い、情報から結論を導き出す」というプロセスにおける個人の一般認知能力を測定します。

Watson-Glaser III Critical Thinking Appraisal (WGIII)

(所要時間：約30分)

「問題を特定して分析し、適切で合理的な結論に到達するために関連情報を探索し評価する」というプロセスにおける個人の能力を測定します。1) 仮定を認識する能力、2) 議論を評価する能力、3) 結論を導き出す能力という、論理的思考能力の3つの側面を評価すると共に、クリティカル・シンキング (批判的思考) 習熟度を測定します。

上記オンラインアセスメントテストのサンプル問題は、アドミッションズサイト (https://admissions.apu.ac.jp/how_to_apply/) を確認してください。出願方法より自身の出願区分を選択し、「選考とオンラインアセスメント」のセクション内にて確認できます。

? 面接にむけて

面接の詳細な内容は開示していませんが、APUの掲げるミッションを念頭に面接準備に臨んでください。APUでは基本理念である「自由・平和・ヒューマニティ」「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」という理念をベースに、APU2030ビジョンという将来計画の中では「世界を変える人」を育てることを目標に掲げており、そのようなAPUの理念に共感し、周囲の仲間とともに高めあっていく人を求めています。

5. 選考方法

出願時に提出されたすべての書類に基づいて、書類審査、オンラインアセスメント、面接等により選考を行います。なお、必要に応じて、出身学校や推薦者等に問い合わせるほか、入力された情報やアップロードされた書類について、志願者に説明を求めることもあります。複数の学部を希望しても、合格する学部は1学部のみです。第1希望から順に審査を行います。

今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、本要項に記載されている選考方法とは異なる方法で選考を実施することがあります。その場合は、アドミッションズサイト (<https://admissions.apu.ac.jp/>) にて案内があります。

6. 外部奨学金(入学後)

A. JASSO 奨学金

APU に入学した場合、以下のJASSO 奨学金を受給できる可能性があります (APU 授業料減免を受けた学生も対象に含まれます)。

- ・ 留学生受入れ促進プログラム予約制度 (渡日前入学許可制度による学校推薦) (以下: JASSO 奨学金A)
- ・ 留学生受入れ促進プログラム「日本留学海外拠点連携推進事業」特別枠 (以下: JASSO 奨学金B)

APU に入学予定で、学業、人物共に優れ、かつ、経済的理由により就学が困難である私費外国人留学生を対象とした奨学金です。渡日及び進学後の経済的不安を緩和し、渡日前入学許可の促進に寄与するとともに、学習効果を一層高めることを目的としています。受給資格を満たす学生に対し、最長1年間 (秋入学の場合は最長半年間)、日本国政府から月額4万8千円 (2021年度実績) の生活費が給付されます。

受給条件や方法、JASSO奨学金A、Bの違い等の詳しい情報は以下のウェブサイトを参照してください。

https://admissions.apu.ac.jp/costs_scholarships/jasso/main/

B. その他外部奨学金

APUを含む日本への留学で受給できる可能性がある奨学金を検索することができます。以下のウェブサイトに記載されている注意事項や条件をよく読んでください (サイト内の情報について、APUはサポートしていません)。

Japan Study Support : <https://www.jpss.jp/ja/scholarship/>

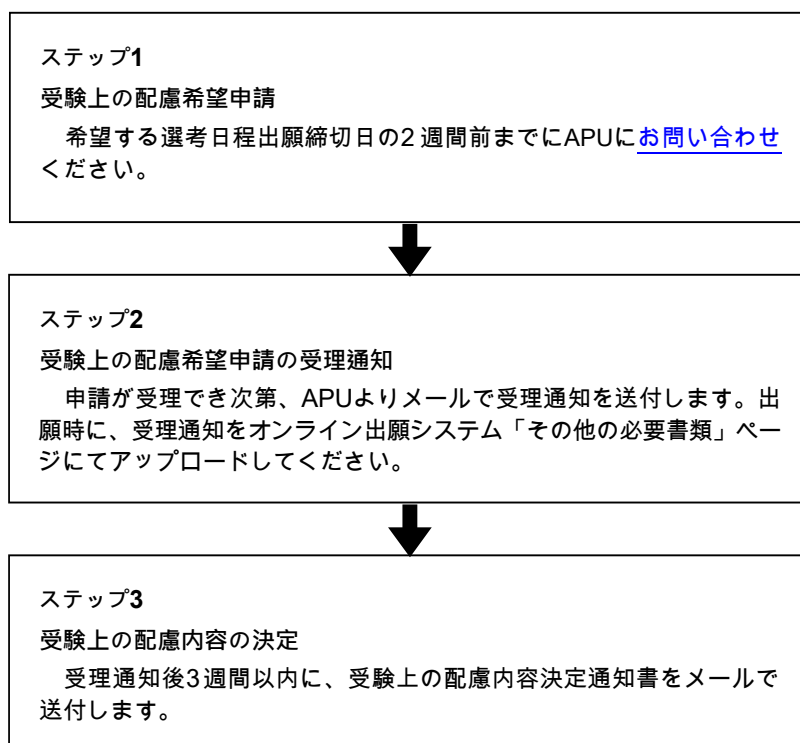
7. 障がいのある志願者への受験上の配慮

本学は「立命館アジア太平洋大学 障がい学生支援に関する指針（ガイドライン）」に沿い（p.25 参照）、障がいなどの状況に応じて受験特別配慮を手配する場合があります。受験特別配慮を希望する場合は下記記載の内容をよく読み、必要な書類をアップロードしてください。

受験上の配慮申請について

受験上の配慮を希望する場合は、出願の前に本学指定のフォーマット「受験上の配慮申請書」、及び可能であれば医師の診断書もしくは、診療情報提供書を提出してください。

* 合格者は、医師の診断書と診療情報提供書の両方の提出が必要となります。



8. 入学に際する医療上の注意事項

以下の事項は、日本の医療情報や、本学・本学周辺の医療や福祉の環境について説明したものです。APU入学後の医療環境への理解を深め、円滑な学生生活を送っていただくために必要な情報として提供しています。

A. ヘルスクリニックについて

本学に設置しているヘルスクリニックは医療機関ではないため、治療薬の処方、注射や点滴等の医療行為を行うことができません。診療・治療が必要な場合は、学外の医療機関を利用する必要があります。

B. 治療の継続について

現在治療中の病気等がある場合は、入学後も治療の継続が必要か否かを、主治医と相談してください。入学後、日本の医療機関で治療継続を希望する際は、治療の計画書や診療情報提供書^{*1}を準備していただく必要があります。

C. 薬の持ち込みについて

日本の法令上、海外からの医薬品の国内持ち込みには厳しい制限があります。現在使用している薬^{*2}を、日本へ持ち込めるか否か、日本大使館、もしくは厚生労働省に必ず確認してください。日本に薬を持ち込む際には正式な手続きが必要となります。

〈参考：厚生労働省HP「医薬品等の個人輸入について」〉

英語：

<https://www.mhlw.go.jp/english/policy/health-medical/pharmaceuticals/01.html>

日本語：

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iyakuhin/kojinyunyu/topics/tp010401-1.html

D. 精神科領域疾患・障がい（精神疾患、発達障がい、睡眠障がい等）について

本学の周辺において、日本語以外の言語で「精神科領域疾患・障がい」に対応できる医療機関はなく、精神科領域における医薬品の日本国内持ち込みにも制限がありますので留意してください。

現在、「精神科領域疾患・障がい」に対する治療を行っており、入学後も治療を継続する必要がある場合は、本要項裏面の問い合わせフォームURLまたはQRコードより必要情報を取得し、治療継続方法を主治医と相談してください。

E. 周辺環境

別府市内の公共交通機関における車椅子対応は十分ではありません。通学の際によく利用されるバス路線についても、現時点では車椅子対応可能なバスはわずかしかなく、通学での利用は現実的ではありません。また、利用の際には事前にバス会社へ連絡する必要があります。車椅子を利用されている方で、本学への進学を検討している場合は、一度本学の環境を確認してください。

F. その他

入学後の生活において、支援や配慮が必要になる可能性がある場合は、本要項裏面の問い合わせフォームURLまたはQRコードより詳細な情報を取得してください。可否には関係がありません。合格後に連絡を頂いても構いません。過去には、母国で服薬していた薬が日本で処方できなかった例や、母国では自己注射が可能であっても、日本では自己注射はできないものだった、という例もありました。このような事態を避け、充実した学生生活を送るために、持病がある方は治療の継続方法や薬について、日本の医療事情を十分に調査した上で、かかりつけ医に相談をし、入学を決定してください。

不明な点がある場合、相談をしたい場合は、本要項裏面の問い合わせフォームURLまたはQRコードより問い合わせてください。

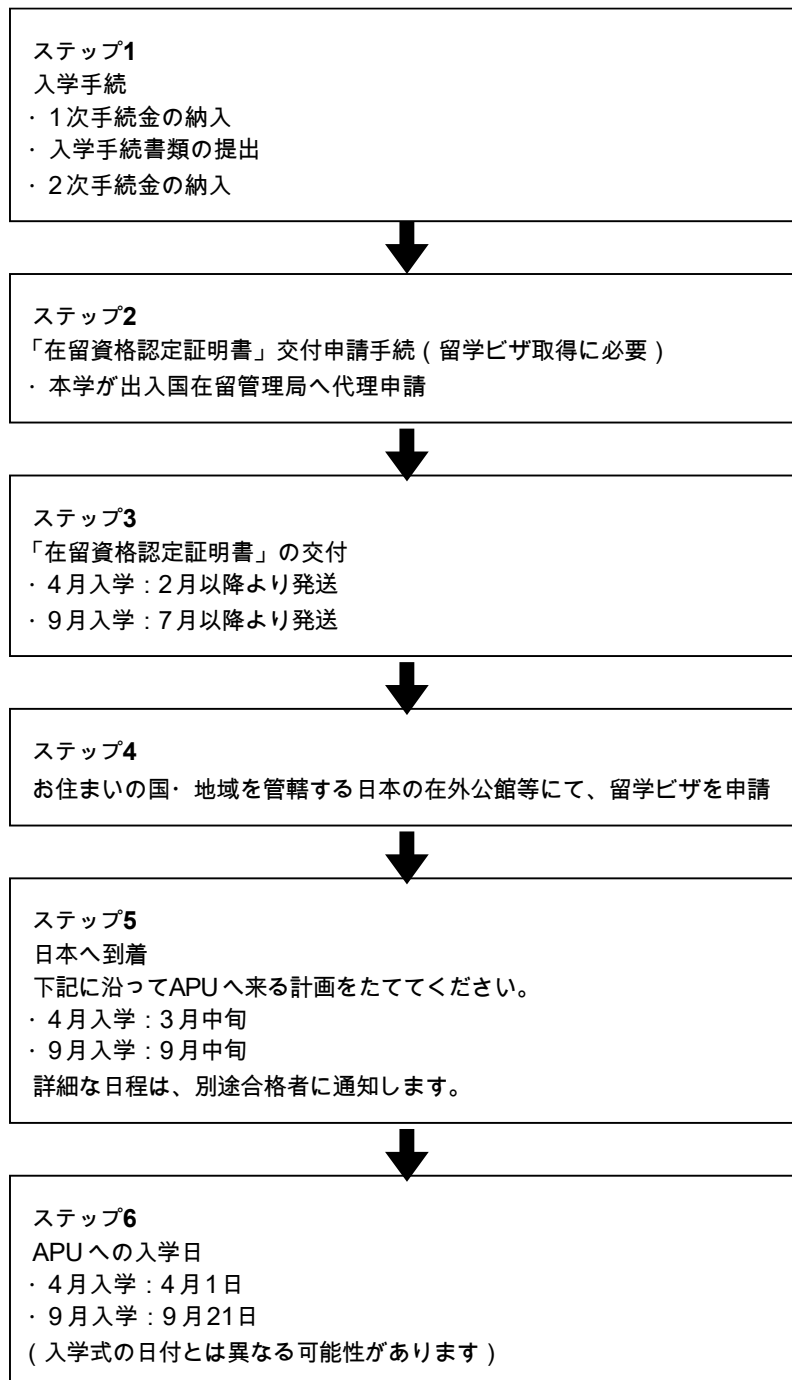
不明な点がある場合、相談をしたい場合は、本要項裏面の問い合わせフォームURLまたはQRコードより問い合わせてください。

^{*1} 傷病名、症状、検査結果、治療経過及び治療計画を明記したもの。日本語もしくは英語で記載。

^{*2} 注射薬の持ち込みについて：自己注射以外の薬剤は、医師の指示の元、医療機関にて注射をしてもらう必要があります。医療機関の状況によっては、注射を実施できない可能性もありますのでご注意ください。本学のヘルスクリニックでは注射等の医療行為はできません。

入学手続

合格者は所定の期間内に、入学手続金を納入するとともに、入学手続書類を提出する必要があります。最終選考結果発表後に案内するオンライン入学手続システム内、入学手続要項にて詳細を確認してください。なお、締切日を過ぎての手続きおよび支払いは一切受け付けられません。



1. 出願書類の「原本証明がなされた複写」及び翻訳の提出

入学予定者は全員、出願時にアップロードした書類の「原本証明がなされた複写」*1の提出が必要です(ただし翻訳書類は原本のみ)。原本での提出も可能ですが、提出された書類は一切返却できません。今後使用予定がある場合は必ず「原本証明がなされた複写」で提出をしてください。以下の書類提出締切日までに必着で郵送をしてください。APUの海外事務所や連絡窓口がある国・地域在住の方は直接持ち込むか、書留で郵送してください。

A. 合格後に、原本提出が必要な書類

書類	対象	原本の提出
成績証明書	全員	必須(原本証明がなされた複写)*1
各種共通試験の成績証明書	出願時に提出しており、試験実施機関からのスコアレポートが送付されない場合	必須(原本証明がなされた複写)*1
卒業証明書または卒業見込証明書	出願時に提出した方	必須(原本証明がなされた複写)*1
言語能力証明書*2	TOEIC® L&R Test、英検、日本語能力試験JLPTを提出した方のみ	必須(原本証明がなされた複写)*1
翻訳*3	翻訳書類を提出した方のみ	必須(原本)

*1「原本証明がなされた複写」とは公的機関(当該書類を発行した機関が望ましい)が、原本と同じものであると認め公印を押した写しのこと。詳細な作成方法を記載した「原本証明がなされた複写について」は、アドミッションズサイト(https://admissions.apu.ac.jp/material_download/)で確認ができます。

*2 基準言語の言語能力証明として提出をした言語能力証明書。

*3 英語または日本語以外で作成された証明書等は、英語または日本語の翻訳の原本が必須です。翻訳者の氏名・住所・連絡先・署名が記入、もしくは捺印されたものを提出してください。証明書の発行機関、翻訳会社または資格を持つ翻訳者による翻訳のみ認めます。なお、翻訳書類のみの提出は受け付けません。

! 提出書類に関する注意

- ・ 上記書類以外にも原本証明がなされた複写もしくは原本提出を求めることがあります。
- ・ 提出された出願書類は、いかなるものであっても返却できませんので、再発行できない証明書等は、必ず原本証明がなされた複写で提出してください。なお、提出された書類は、本学の文書保管規定に則り処分します。
- ・ 提出された書類が出願時と異なる場合、また偽造や提出した情報における虚偽記載があった場合は、入学前・入学後に関わらず入学許可を取り消します。

2. 入学手続締切

一次手続金 納入締切	書類提出締切	二次手続金 納入締切
2023年6月29日(木)		

3. 入学手続金

入学手続を完了するために、下記の費用の支払いをしなければなりません。十分な経済能力があるかを確認したうえで、出願を行ってください。合格後に案内するオンライン入学手続システムにて、入学手続金等請求書の確認ができます。本学への入学を希望する合格者は、各締切までに入学手続金を納入しなければなりません。指定期日までに納入しない場合は入学資格を失います。一旦納入された入学金とAPハウス入居費は、理由のいかんに関わらず返還しません。

APUでは入学手続金1、2について国際決済サービスConveraでの支払いを推奨しています。Converaを使用せず通常の海外送金で支払う場合は、以下の金額に追加で10,000円の手数料がかかります。詳しくは合格後に閲覧できる入学手続要項内に記載しています。

A. 一次手続

入学金：200,000円

B. 二次手続



重要

二次手続金は、授業料、住宅補償料・保険料、入寮に関する前納金の3つの費用から構成されています。二次手続でそのすべてを納入しなければなりません。

授業料

APU入学前に第1セメスターの授業料を全額納入しなければなりません。

1回生新入学：650,000円

授業料減免の適用者の授業料は、以下のとおりです。

授業料減免率	0%	30%	50%	65%	80%	100%
1回生新入学	650,000円	455,000円	325,000円	227,500円	130,000円	0円

学研災付帯学生生活総合保険等

1回生新入学：17,540円

日常生活における賠償責任事故に備え、本学で学ぶすべての国際学生が本学指定の保険に加入します。各金額については改定されることがあります。詳細は合格後に案内するオンライン入学手続システム内のご案内を確認してください。

入寮に関わる前納金

234,000円

授業料減免の適用有無にかかわらず、APハウスに入寮するすべての入学者が支払う必要のある費用です。内訳は入居費(32,000円)、敷金(98,000円)、2ヶ月分の家賃(月額52,000円)です。

上記、各金額については改定されることがあります。

APハウスのどの棟に居住する場合でも前納金寮費分は一律52,000円となります。月額の家賃と異なる場合は、入寮後の寮費や退寮時の返金等で差額調整を行います。

C. 卒業までの授業料

本学を卒業するためには通常4年間で124単位以上を修得することが必要です。卒業までの年間授業料の参考例は以下のとおりです。

	1回生時	2回生時	3回生時	4回生時
1回生新入学	1,300,000円	1,500,000円	1,500,000円	1,500,000円

4. 入国に必要な手続

留学ビザを取得し、留学生として日本に入国するためには、日本の法務省出入国在留管理局にて「在留資格認定証明書 (COE)」の交付を受ける必要があります。

ステップ1

在留資格認定証明書の交付申請を本学が代理申請

以下のすべての条件に適合すると認められる場合、本学が代理申請を行うことが可能です。

1. 日本国外からの志願者で、合格後「留学」ビザ取得のために「在留資格認定証明書」の交付申請が必要な者で、かつ本学のみ代理申請を委ねる者
2. 入学に必要な諸費用を指定期日までに納入している者
3. 本学が指定する書類を指定期日までに提出し、留学中の経費支弁能力を立証することができる者
4. 本学が代理申請を妥当と判断できる者

「在留資格認定証明書」を代理申請するにあたり、本学は合格者本人の入学意志を確認する必要があります。本学では入学手続金全ての納入をもって入学する意志があると判断します。



ステップ2

在留資格認定証明書を使って、査証 (留学ビザ) の申請をする

在留資格認定証明書が交付されたら、本学より志願者に発送します。来日前に、交付された在留資格認定証明書を使って、お住まいの国・地域を管轄する日本の在外公館等にて、留学ビザを申請してください。

⚠️ すでに在留資格を持っている場合

在留資格の変更・更新については出入国在留管理局に、その他、登録情報 (転入届、転出届等) の変更・更新などについては、日本出国前にお住まいの市町村区役所等で確認の上、各自で必要な手続きをしてください。入学日の前日まで (春入学日: 4月1日、秋入学日: 9月21日まで) に在留資格「留学」へ変更を行わなかった場合、授業料減免は取り消しとなります。詳細は、p.15を参照してください。

立命館アジア太平洋大学 障がい学生支援に関する指針 (ガイドライン)

立命館アジア太平洋大学(以下本学)では、以下の指針(ガイドライン)に基づき、身体障がい、発達障がい、精神障がい、その他の心身の機能の障がいがある学生(以下「障がい学生」という。)の支援を行う。

ただし、本指針(ガイドライン)は、支援制度の基準、根幹を定めたものであり、支援内容については、障がいの内容や程度に応じ、個別に必要なかつ合理的な配慮を検討し、障がい学生や関係者と十分な協議を経た上で決定する。

1. 支援理念

本学に従事する全ての教職員は、本学での修学において支援を求める学生が、本学での学びの経験を通して、成長し社会につながっていく、そのプロセスを支援する。また本学は、本学に在籍する学生及び関係者が本指針を理解し、共に協力し合うことを期待する。

2. 基本方針

- 1) 本学の教職員は、本学に在籍する障がい学生が、障がいのない学生と分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら学生生活を送ることができるよう支援を行う。
- 2) 障がい学生の支援を通して、すべての学生の学びと成長に寄与する取組を行う。
- 3) 障がいのある学生に対する支援は、原則として本人からの支援要請に基づき行うものとする。
- 4) 支援内容の判断が困難な場合には、障害者基本法に定める「合理的配慮」並びに文部科学省の「障がいのある学生の修学支援に関する検討会」報告(第一次まとめ・第二次まとめ)が定める基準、取扱いを参考とし、学生の個別事情及び本学の環境等を勘案して判断する。

3. 支援の目的

本学の障がい学生支援は、障がいを理由として教育や学習の権利が不当に損なわれることのないよう取り組むことを第一の目的とする。同時に、修学の上で必要に応じて適切な支援を行うことや、支援活動を通じて、よりよい人間関係を養うとともに、支援者が障がいについて理解できる場を提供する。

4. 支援体制

本学における障がい学生の支援者は、本学の教職員及び障がい学生を支援する本学の学生サポーターとし、学外の障がい者支援の専門家等とも緊密に連携を図る。

本学は障がい学生への支援を全学的に行うために、スチューデント・オフィス内に「障がい学生相談受付」を設ける。またスチューデント・オフィス、アカデミック・オフィス、アドミッションズ・オフィス、キャリア・オフィスに「障がい学生支援相談員」を配置し、学生等へ公開する。学生はスチューデント・オフィスの「障がい学生相談受付」だけでなく、直接、相談員に相談することもできる。

「障がい学生相談受付」は、障がい学生から受けた相談内容に応じ各オフィスの相談員に繋ぎ、相談員は障がい学生の修学支援及び関係部局間や支援者間の連携支援が適切に行われるための調整を行う。

5. 個人情報の保護と守秘義務

- 1) 支援者が支援をする上で知り得た障がい学生の個人情報(障がいや相談の内容を含む。)の管理を厳密に行い、第三者に個人情報の開示や提供が必要な場合は、本人の同意を得るものとする。
- 2) 障がい学生への連携支援を行うために必要と本学が判断した場合、集団守秘義務を十分に遵守しつつ支援者間での個人情報の共有を行うことができる。

6. 情報公開

本学の障がい学生支援方針、支援体制や相談の進め方また支援内容等について、本学ホームページ等を活用し、学生や志願者等に適宜、適切な方法で周知する。

7. この指針(ガイドライン)に関する事務は、スチューデント・オフィスが行う。

8. この指針(ガイドライン)の改廃は、学生委員会、教学委員会の議を経て、学長が決定する。

付則

この指針(ガイドライン)は、2016年4月1日から施行する。

障がいのある学生に対する本学の支援について<http://www.apu.ac.jp/home/life/content39/>

性の多様性に関する基本方針

立命館アジア太平洋大学は、基本的人権の尊重という観点より、性の多様性を尊重します。いかなる性的指向や性自認の学生も人権侵害を受けず、また、性的指向や性自認を理由に不利益な扱いをされることも不快な思いや苦痛を受けることもなく、本学において学修し、学生生活を送る環境を整えます。

性の多様性に関わる本学の環境について

<http://www.apu.ac.jp/home/life/content57/>